

令和03年度 藤枝明誠中学校 学校評価の指標

(評価の基準 A:十分に実践されている B:ある程度実践されている C:不十分 D:わからない) R4(22)

|         |  |  |  |   |  |                                 |  |
|---------|--|--|--|---|--|---------------------------------|--|
| 教育目標    | 「学園は教える者と、教えられる者とが、相互の信頼によって生かされる精神的な共同体である。」という理念の下、知・徳・体を錬成し、調和ある人間像を確立する。   |  |  |   |  |                                 |  |
| 経営方針    | (1)「自律的な精神」、「思考力と創造的な知性と技量」、「自然愛や人間愛を大切にす豊かな情操」を培う。<br>(2)「日本人としての美徳を育て、実践的な社会性を養うとともに、国際化・情報化社会のフロントランナーとして、社会貢献できるフェアなリーダーとしての資質を培う。 |  |  |   |  |                                 |  |
| 本年度重点目標 | I 知育の推進 II 徳育の充実 III 健康な身体の育成 IV 豊かな生活の追及 V 家庭地域との連携 VI 生徒募集 VII 教育施設設備の活用   |  |  |   |  |                                 |  |
| 重点目標    | 評価項目   | 令和03年度更新 具体的な方策または項目を評価する具体的な指標  | 令和03年度の実施状況  | 職員評価  | 職員コメント ◇:提言 ▲:改善 集計・まとめ 期末3/12, 66名  | 関係者評価                           | 関係者コメント ◇:提言 ▲:改善 集計・まとめ 期末 3/31   |
| I 知育の推進 | 授業の充実と<br>難関大学進学に<br>向け啓発  | ① 国・数・英等で発展学習実施<br>英検P2級/2級指導(放課後週一回)<br>② 国・数・英等で反復学習実施(復習・演習)<br>③ 補習補強の柔軟な実施<br>オンライン :O/L学習、スタディサプリ、無線LAN<br>④ 進路指導・講演等進路啓発指導を高校部職員、<br>専門家・OBにより実施<br>⑤ 学力推移結果受取後の学級/学年指導<br>情報や目標の共有(中学部・高等部・教科担当)<br>⑥ 授業時数や計画、副教材の見直し<br>⑦ 学習時間・課題調査と集約共有、一斉指導と保護者周知 | ① 各学年英数の3grp習熟度編成を行い、より目的的に指導し、実力向上を図った。<br>学習状況や精神的な成熟度を鑑みながらタイムリーに実施した。<br>② 先取学習と習熟度編成により反復内容も各グループ工夫しやすくなった。<br>特に11月以降の学習内容について検討し、より目的としたと考える。<br>③ 放課後指導の内容について新展開すべく諸点検討が続いている。<br>O/L学習の環境準備がR4年度に向けて進行中。アプリの使用法・運用方法は<br>要検討である。特に1月J3学年閉鎖時の学習管理にスタディサプリ等有効活用できた。<br>放課後プロジェクトを2月下旬より始動し学習機会の増加工夫を図った。<br>④ 8・3月にJ3進路課長講演、9月にJ2職業講話(海洋講演)、11月に全学年社会福祉<br>仕事セミナーを実施。規模と機会を縮小せざるを得なかった。<br>⑤ 各実カテスト等の結果について情報を共有し、事前事後指導や授業改善に活かした。<br>⑥ 副教材の使用についてタイムリーかつ機動的な対応が行われた。目的に合わせ<br>一層の工夫が求められる。<br>⑦ スタディマーカ―を試み通年継続した。運用方法をさらに工夫し学習の動機づけと<br>学校理解に役立てたい。職員の意識づけも引き続き高揚させていきたい。 | A 18%<br>B 66%<br>C 2%<br>D 14%   | ◇ 英語における習熟度別指導の効果・必要性を検討したい。<br>・ 英検の取得など細かい指導がなされている。<br>・ 英数のグループ化によって少人数となり、指導がしやすくなっている。<br>▲ 土曜日のMDの活用について課題あり。<br>・ 放課後プロジェクト時の英語講座により生徒の学力向上に努めることが<br>できた。<br>▲ 難関大学進学に向け、生徒への意識づけが必要だと感じた。<br>◇ 来年度からのICT教育の推進を期待すると同時に、非常勤講師を含む<br>手厚いサポートを希望する。<br>・ 観点別評価を先行して行っているので連携を強化して高校部もスムーズに<br>移行していきたい。<br>◇ スタディマーカ―、放課後プロジェクト、スタディサプリ等の活用方法を<br>教員も生徒も考えるべき。<br>▲ 先取学習のカリキュラムをきちんと組み立てたい。<br>・ 取り組みにより生徒の意識が高まっていると思う。<br>・ 学力向上に向けて、各企画が開始し、自ら学ぶという素地作りが進んだ。<br>▲ 中高一貫校としての6年間の指導方針の策定、学習計画の構築が<br>行われる必要がある。<br>・ 情報や目標の共有はできていていると思う。<br>・ 英検をよく頑張っている。習熟度別のクラスは良いと思う。<br>▲ 中高6年という意識をもった持たせてよいのでは。内進クラスから外へ出る<br>生徒が多く、内進クラスとしての意識が薄れつつあるように感じる。<br>内進生の進学実績を追跡し、中学の諸活動に反映させるような<br>取り組みがなされてもよいのではないか。<br>・ オンライン学習を定着させ家でも学習できる環境をつくることにより<br>学習面に良い結果がでると思う。   | A 43%<br>B 57%<br>C 0%<br>D 0%  | ・ 職業講話は将来つく職業のイメージとして重要な役割をもってもらえる。<br>・ 中学生の段階から難関大に向けた取り組みを継続してほしい。<br>◇ 明誠中にしかできない良さを更に追及してほしい。<br>▲ 内進クラスから外へ出る生徒についての状況把握(分析)と対応が<br>必要。<br>・ 進学の意識をしっかりと持たせるように引き続き取り組んでほしい。   |
|         |  |  | 外部模試等で<br>学力把握<br><br>在籍<br>J3 74名→73名<br>J2 72名→70名<br>J1 75名→75名   | ① ベネッセ学力推移調査三科目受験と事後指導<br>J3 58以上- 19% 45以上- 57% 40以上- 16%<br>J2 58以上- 17% 45以上- 51% 40以上- 15%<br>J1 (58以上- 15% 45以上- 50% 40以上- 15%)<br>※ それぞれの数値は単純の数値を表す<br><br>② 実力確認テスト(明誠高校入試)受験<br>J3:目標進路の学力水準達成80%以上 五科目<br>J2:基礎基本問題の習熟と確認 三科目<br><br>③ 英検受験<br>年度末(2月)の時点<br>【J3 準2級以上 43% 3級 39%】<br>【J2 3級以上 44% 4級 36%】<br>【J1 4級以上 40% 5級 35%】<br><br>※ それぞれの数値は単純の数値を表す<br>※ ( )内の数値は昨年度の数値を表す<br><br>④ 各試験結果受取後の一斉学級/学年指導<br>情報や目標の共有(中学部・高等部・教科担当) | ① J3 9月② 58以上- 8% 45以上- 61% 40以上- 17%<br>4月① 58以上- 14% 45以上- 58% 40以上- 18%<br>ボトムアップと上位層の拡大に課題が残った。数学の取り組みに貢献度が目立った。<br>数英の3グループ編成をさらに活用していく必要を感じる。もう少し早い対策が必要<br>だったと思う。<br>J2 1月③ 58以上- 10% 45以上- 45% 40以上- 20%<br>9月② 58以上- 13% 45以上- 46% 40以上- 10%<br>4月① 58以上- 11% 45以上- 40% 40以上- 22%<br>全体的に着実に向上したが、ボトムアップと上位層の拡大に課題が残った。<br>J3と同様の傾向があり、改善と向上に向けて毎日の授業レベルで新たに<br>施策が必要である。<br>J1 1月③ 58以上- 7% 45以上- 39% 40以上- 25%<br>9月② 58以上- 10% 45以上- 38% 40以上- 21%<br>4月① 58以上- 5% 45以上- 40% 40以上- 23%<br>上位層が若干向上したが、中位層の拡大とボトム層の減少を引き続き目指して<br>いきたい。啓発を行いつつ、生徒別に目標を持たせて指導を明確にしたい。<br><br>② J3 目標進路の学力水準達成率は約60%で目標を割った。要因は数学や社会の<br>難化と中下位層の社理の演習不足と思われる。啓発と動機づけについて<br>課題が残る。実力はもっと出せると思う。<br>上位層・中上位層が特に英数国に安定的に力を発揮した。社理は平均的で<br>あり、対策や対応に課題が残る。<br><br>J2 既習事項に対して一通り解答していることを確認できた。<br>各層例年通りの内容成果であったと思われる。<br>3年進級時のスタートの切り方について啓発を含めて検討したい。また、<br>夏休み前から一斉指導を始めた方が良さそう。例年通りでは遅いだろう。<br><br>③ J3 2月 2級- 4(9)% 準2級-38(16)% 3級-37(57)% 4級-16(12)% 5級-3(2)%<br>10月 2級- 3(5)% 準2級- 33(15)% 3級- 36(58)% 4級- 23(15)% 5級- 3(4)%<br>準1級- 0(1)%<br>ボトムアップを達成した。一方最上位層の伸びは例年より弱まった。<br><br>J2 2月 2級-0(0)% 準2級-13(17)% 3級-36(41)% 4級-30(27)% 5級-19(10)%<br>10月 2級- 0(0)% 準2級- 7(12)% 3級- 30(28)% 4級- 40(31)% 5級- 20(13)%<br>ボトムアップの成果を出しつつある。上位層の指導の手だてについては検討<br>(改善)事項である。<br><br>J1 2月 2級-0(0)% 準2級- 1(4)% 3級- 9(12)% 4級-33(36)% 5級-31(38)%<br>10月 2級- 0% 準2級- 1% 3級- 5% 4級- 12% 5級- 36%<br>各級層は昨年度より薄い。級外も多少目立つ。<br>④ 何をいつからいつまでにといった「納期」の共通認識と一斉指導が不明瞭の傾向。 | A 15%<br>B 62%<br>C 8%<br>D 15% | ◇ 中高一貫の良さをアピールするためにも数値目標を偏差値50以上を<br>一つの基準として集計すべき。<br>◇ 英検の申し込み方法を工夫したい。<br>・ 各教科で学力調査への取り組みがよくできていると感じる。<br>▲ 数学の下位層の底上げをしていかないと内進英数科で苦勞する。<br>・ 上位層と下位層の開きがより大きくなっているように感じる。<br>▲ 英数国の基礎学力が定着していない生徒へのケアが必要。<br>▲ 中下位層のレベルを上げ、上下の開きを少なくするための方策が<br>取られるべき。<br>▲ 生徒の英検への意識が低いように感じる。<br>◇ 習熟度編成であったり、ベネッセテストを実施したりする3教科は<br>ある程度の水準が見込めるが、理社についてもう少し考えていきたい。<br>◇ ベネッセ学力推移調査は中高一貫教育として導入したものである以上、<br>中学時の学力DATAと高校時の学力DATAを結びつけて、中学校でも<br>学習指導に利用すべきである。<br>▲ 入学生徒の学力の開きは明白である。 |

|          |  |  |   |  |   |  |
|----------|--|--|---|--|---|--|
|          | <p>生きる力や総合力を<br/>はぐくむ活動の設定</p> <p>① 学習・体験活動とその目標成果の整理・広報・見える化・発表等の総合力育成の場を設定<br/>行事ごとの一斉指導 手立ての引き継ぎ</p> <p>② 実行委員会を組織した委員会・生徒活動<br/>実行委員会と委員会の系統・目標・活動の見える化<br/>及び一斉指導</p> <p>③ 発達段階や興味を踏まえ、朝読書を奨励する。<br/><u>ビブリオバトルの取り組み</u><br/>成果のアウトプットと共有、周知</p>  | <p>① 前期前半足並みが揃わない時期もあったが、後期に入り自己振りかえりシートや行事レポートの作成などスムーズに実践された。個性的で意欲的な掲示もよく目立つようになった。各学年のねらい、年間の中のその都度のねらいを明確にし、共有することによって指導の精度を向上させ、心身の成長を促したい。</p> <p>② 高校部主導の定型化された活動に従事することが主だったが、生徒会、学習委員、新聞委員など中学独自の取り組みや活動も主体的に実践された。潜在的にはまだまだいけると思う。</p> <p>③ 朝読書の取り組みは引き続き継続するが、一人で読むだけではなく成果を比較共有する機会を設けることにより、自他の理解や興味関心の向上を狙うことも大事。学習や学究の意欲の高揚や集団育成にも繋がる。</p>   | <p>A 15%</p> <p>B 68%</p> <p>C 3%</p> <p>D 14%</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>体験活動した後の振り返りでプレゼンテーションを取り入れる事で大学入試に向けても良い影響になる。</li> <li>▲朝読書をもっと活用してほしい。</li> <li>◇プレゼンなどアウトプットの場をより増加させたい。</li> <li>・朝読書の取り組みを見直し、改善を図っている。</li> <li>・MDの改革に着手した。来年度本格実施し、アピールの一つにする。</li> <li>◇生徒個人の成長の様子を数値として見える化する「ルーブリック」評価の導入を検討したい。</li> <li>・学習だけでない活動が多くできていると感じる。</li> <li>◇将来の大学受験に必要なとされる論理的思考力の構築の為に、朝読書の大切さを今一度真摯にとらえて欲しい。</li> <li>・生徒の主体的な学校行事等への取り組みが見られた。</li> <li>◇読書の質も高めていけると良い。自分で持ってきた本を誰かと交換するなどを企画してみてもよいかもかもしれない。</li> <li>・生徒の自発性、積極性を育てることができている。</li> </ul>            | <p>A 14%</p> <p>B 86%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇共通テストではボリュームのある文章を読んで解答することになるので、中学の時から読解を育む取り組みが工夫されていると良い。</li> <li>◇ビブリオバトルの継続をお願いしたい。プレゼンは力になる。</li> <li>◇朝読書について、明誠独自の推薦図書はあるのか。課題図書で教育方針などに沿った本を読むのはどうか。</li> <li>◇良い点はもっと今以上に伸ばす指導に力を入れてほしい。</li> </ul> |
| I 知育の推進  | <p>日本文化理解と<br/>国際教養養成<br/>(総合学習)</p> <p>① 日本文化理解行事実施【(2)回/年】<br/>J1 自然体験、富士山学習、地域社会調べ・探訪<br/>J2 寺社宿泊研修、企業探訪、地域・大都市探訪<br/>J3 寺社・精神文化調べ、企業研修、地域・古都研修</p> <p>② 講演や交流会の実施・研究<br/>J1 郷土<br/>J2 医療・企業・進路<br/>J3 医療・企業・進路</p> <p>③ 英会話授業【週1回】とアウトプット実践<br/>J1～J3</p> <p>④ 禅寺の活用</p> <p>⑤ 日本文化・国際教養講話／講演実施</p> | <p>① J1 4月国立青少年交流の家研修、10月久能山東照宮・静岡市沼上資源循環／C見学。徐々に久能山東照宮探訪が復活した。富士山学習の要素もあり、様々な観点から切りこんで学ぶと良いと思う。</p> <p>J2 4月可睡齋宿泊研修、10月関西(奈良・京都・滋賀)オータムキャンプ。シャープミュージアム研修(天理市)・三井寺研修・念珠製作体験(大津市)、テーブルマナー学習(守山市宿泊ホテル)、立命館見学:職員による講座と学生による校内ツアー(京都衣笠)、ヤンマープラザ見学:講座と体験学習(長浜市)。昨年同様関西に変更、企業研修と大学研修が充実したが、卒業生講演が未実施となったのが心残りであった。バス4台で往復。</p> <p>J3 4月静岡県地震防災／C・ふじのくに地球環境史ミュージアム研修<br/>10月関西修学旅行 昨年度同様4台のバスで往復した。<br/>定番のポイントを押さえながら、独自性も狙った場面がみられた。修学旅行の3日目は今年もタクシーを利用した。希望者には着物着付けも行った。見学ルートに製作体験を設けたり、寺社以外の目的地を設けたり趣向を凝らす展開も見られた。</p> <p>② J1 11月社会福祉講演、<br/>J2 9月海洋講演実施、11月社会福祉講演、<br/>J3 7月進路課長講座①、11月社会福祉講演、3月進路課長講座②予定<br/>フィールドワーク以外にも地元の社会人の方の応援も要請したいところ。</p> <p>③ TT授業及びスピーチ指導を継続し、表現力の向上を図った。地味な部分だが、着実に英語力の向上に貢献している。</p> <p>④ J2 4月可睡齋宿泊研修。10月三井寺探訪と念珠製作体験実施<br/>4月の研修の意義は大きい(昨年度は実施できなかった)。学校生活や今後の行事を実施する際の橋掛け・基盤となる。</p> <p>⑤ 9月にJ2対象に海洋講演を実施したが、オータムキャンプは関西方面となり、横浜磯子のJMUでの実地研修は2年連続未実施となった。<br/>これは本当に痛手である。</p> | <p>A 26%</p> <p>B 58%</p> <p>C 2%</p> <p>D 14%</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>朝読書の改善に期待したい。</li> <li>・朝読書の取り組みは1日の始まりとして落ち着いた学校生活をする大事なことだと思う。</li> <li>◇どの行事にどんな力を伸ばしたいのかというものを全教員が共有しなければならない。</li> <li>・キャリア教育がよくできていると思う。</li> <li>◇本項の目的を達成できた。企画の段階から生徒を関わらせて「生きる力」を育む一助としていきたい。</li> <li>・全ての研修を文化祭展示を行ったらかなりの展示になると思う。</li> <li>・J3の関西修学旅行のプレゼン発表会はとても良かった。</li> <li>▲国際教養の養成が不十分。</li> <li>・J3の修学旅行では生徒が主体的に日本の文化を学ぶことができた。</li> <li>・日常では経験できないことを体験することによって人間性を育むことができていると感じる。</li> <li>◇内部では経験できないことを外の環境で身をもって感じることができる重要な行事である。コロナ禍で見通しがつかないが、計画実施するべきである。</li> </ul> | <p>A 0%</p> <p>B100%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ制限下にもかかわらず研修が一部を除き実施できたのはよかった。</li> <li>・日本文化、他国の文化に中学時代から触れる事ができることはよい。</li> <li>・充実した活動がなされている。</li> <li>・行事の中身を変更した場合もあった様だが、現状下でよく実施したと思う。生徒も見聞を広める良い機会である。</li> </ul>                                  |
| II 徳育の充実 | <p>基本的生活習慣の<br/>確立</p> <p>① 身だしなみと挨拶の指導<br/>校風検査【1回/月】</p> <p>② TPOに合わせた所作・マナー・学習態度等を<br/>発達段階をふまえて指導検証する<br/>打合せ、定例中学部会(週・月)等にて<br/>情報交換し一斉指導の手立てを共有する</p> <p>③ 私物貴重品管理・整理整頓・清掃指導の徹底</p> <p>④ 欠席・遅刻・早退の減少<br/>基本的生活習慣の維持</p> <p>⑤ 基本的生活習慣近況について情報発信</p>   | <p>① 年度当初4月の全体集会指導は2年連続控えているが、再開の必要性も感じている。月例校風検査は男女別で実施した。頭髪以外は担任によるフォロー指導を行った。</p> <p>② 学年差が出ている面があり注意が必要。共通認識を保ちつつ、6年間生徒を預けられていることを踏まえ、妥協しないで対面指導を行い育成していきたい。</p> <p>③ 全体として一定水準以上の節度で指導が継続できたが、共通理解が不十分な面もあり対策が求められる。</p> <p>④ 欠席・遅刻・早退は通年全体的には昨年度に比べ減少した。<br/>一斉の啓発指導や共通理解の必要性を感じる。</p> <p>⑤ 通年部会等を主に近況を共有し、対策を検討した。生活アンケート等も非常に役立った。</p>   | <p>A 23%</p> <p>B 51%</p> <p>C 11%</p> <p>D 15%</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が明るくなったと感じる。</li> <li>▲朝の挨拶の声が小さい生徒がいる。</li> <li>◇もっと学年指導をしつらよと思う。</li> <li>▲中学生の挨拶には物足りなさを感じる。</li> <li>▲基本的生活は明誠の柱である中で清掃用具などの備品を大切に扱うことができない生徒が見受けられた。</li> <li>▲あいさつが返せない生徒もいる。</li> <li>・基本的生活習慣の確立は、他校に比べればとてもできていると思う。</li> <li>▲J1生徒に幼い言動が多く見られた。一部授業態度が悪い生徒や服装が乱れている生徒が見られた。</li> <li>▲言葉遣いが気になる生徒が多い。先輩に対して良くない生徒が一部いる。気がかりである。</li> <li>・ルールを守るといことや、集団の中で生きていくことを教えられている。</li> <li>▲生活面の乱れは改善できていないと思われる。</li> </ul>   | <p>A 86%</p> <p>B 14%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶など少しずつ改善しているのでは。</li> <li>・明誠の生徒の挨拶はよくできている。</li> <li>◇中学生のさらに若いパワーで明誠を活気づけてほしい。</li> <li>◇基本的生活習慣、挨拶等教員も原点に戻り、もう一度再認識して始動してみたらどうだろうか。</li> </ul>  |

|                    |                                 |   |   |  |  |   |
|--------------------|---------------------------------|---|---|--|--|---|
|                    | <p>特設道徳の充実と行動化</p>              | <p>① 本校理念の浸透、一斉道徳講話実施【複数回/年】</p> <p>② ボランティアの実施</p> <p>③ 自律性と社会性を培う場を設定し実践力行動力向上を図る<br/><u>リーダーシップ・フォロワーシップ涵養</u></p> <p>④ 交通マナーの指導と実践<br/>交通安全教室実施</p> <p>⑤ 道徳教科書ノートを年間計画で使用学習の記録を振り返り、共有する</p> <p>⑥ 情報端末使用時の人権問題啓発指導講演実施と集会等で啓発指導</p> <p>⑦ 「いじめ」皆無の指導、【調査3回/年】</p> <p>⑧ 成果や伸長について情報発信</p> | <p>① J1～J3全体道徳はこれで2年連続未実施となり、過去に例がない状態となった。展開の仕方の工夫や学年実施等の施策が必要である。</p> <p>② ボランティア活動は2年連続未実施となった。適切な範囲内での活動を模索計画する必要がある。</p> <p>③ 主要行事中心に団体行動を実施。機会は昨年同様減少したが実践機会を生かし目標の達成を目指した。</p> <p>④ 5月に交通安全教室を体育館で実施し、レクチャーを受けた。昨年同様座学の展開となった。そろそろ工夫が必要かと思う。</p> <p>⑤ 年間計画に沿った運営には至っていない。全体と学年・学級の両輪での運営を復旧再構築していく必要がある。</p> <p>⑥ 7月NTT講師による携帯安全教室を実施し、SNS等の長所短所について全学年で学んだ。後期については未実施となった。次年度はタブレット端末導入もあり、年間2回以上の啓発機会を設けたい。</p> <p>⑦ 講師招聘による対人関係セミナーや検査等については今年度は未実施となった。日常の情報交換やアンケート等による状況把握による、未然防止が概ね功を奏したと思う。しかしながら火種はあるので常に注意を怠ってはならないと思う。</p> <p>⑧ 定例会での情報共有や通信・懇談会・面談を適宜機能させた。中学部通信の発行が特に目立った。取り組みを継続していきたい。</p>   | <p>◇ 携帯・SNSの取り扱いは継続的にしていくべき。</p> <p>▲ 道徳心やボランティア精神が生徒に浸透しにくい。</p> <p>▲ J3のヘルメットをせずに自転車に乗っている生徒を厳しく指導したい。毎年前年の真似をして悪習となっている。</p> <p>▲ 生徒の交通マナーを改善する必要がある。</p> <p>◇ いじめとまではいかないが、ちょっかいをかけたりしてトラブルに発展するケースが見られたので、そういった事を減らす為の指導が必要だと感じた。</p> <p>・ 自転車併進が目立つ。交通安全指導については今まで以上に強化する必要がある。</p> <p>◇ 生徒達が主体的に取り組める活動を考えたい。</p> <p>・ コロナ禍の中大変だと思うがボランティアの実施のための工夫が必要。</p> <p>▲ 交通マナーをもう少し改善したほうがよい。</p> <p>・ 様々な活動により主体性が向上していると感じる。</p> <p>A 12%<br/>B 63%<br/>C 5%<br/>D 20%</p>            | <p>A 0%<br/>B 86%<br/>C 14%<br/>D 0%</p> | <p>◇ いじめをなくす取り組みを意識して実施してほしい。</p> <p>◇ 社会に出て、経済と道徳の二本柱が必要である。</p> <p>▲ 「悪習」とは、良く振り返り、きちんと指導したい。</p> <p>▲ 上級生の在りようも問題である。先輩としてもっと態度で下級生に教えるべき。</p> |
| <p>II 徳育の充実</p>    | <p>個の尊重と主体性の醸成</p>              | <p>① 情報交換で個の把握【月次・週 定例会実施】</p> <p>② 生活帳の熟読とコメント</p> <p>③ 個別指導には、養護・カウンセラー・生徒課等チームの活用</p> <p>④ 中学生生徒理解研修会【全職員で実施】<br/><u>成長面・プラス面の共有</u></p> <p>⑤ KJQの実施と評価の活用</p> <p>⑥ 随時良い点や現れをフィードバック、全体で共有</p>   | <p>① 日常的かつ定期的な情報交換により、生徒指導の対応が早くなった。担任が問題を一人で抱えないようにフォローに配慮した。</p> <p>② 生活帳を有効に活用し、意思疎通や問題解決に効果的につなげた。学校への安心感が向上し、学級運営や安全管理に貢献した。</p> <p>③ カウンセリングの活用が徐々に自然に進み、日常化した。外部組織の知見の有効活用が浸透してきたと思う。</p> <p>④ 行動のあらわれを共有し、生徒理解の向上に努めた。中高一貫の指導力向上に資する目的を確認したい。</p> <p>⑤ KJQの実施は本年度は見送りとなった。別の検査の採用も検討している。</p> <p>⑥ 職員間や家庭と学校間のコミュニケーションの風通しの良さがあり、協同していく環境があったと思う。</p>  | <p>・ 生徒個別の精神状態や悩みに対応できていると感じる。</p> <p>・ 担任サイドではとてもよく実行されている。</p> <p>・ 中学部の風通しが良くなっている感じる。</p> <p>・ 個々の生徒を担当が理解し対応がよくされている。</p> <p>◇ 生徒理解研修会で全体で情報の共有が一時的に行っているが、年度進行中に変化が多く発生している。途中で現況確認の全体研修も必要だと思う。</p> <p>・ 中学部職員の生徒指導は熱心で親身である。</p> <p>・ 生徒指導の対応がよかった。</p> <p>・ スクールライフを毎日点検することで見えてくることもあり、良いと思う。</p> <p>A 28%<br/>B 57%<br/>C 2%<br/>D 13%</p>  | <p>A 14%<br/>B 86%<br/>C 0%<br/>D 0%</p> | <p>・ 教員と生徒の意思疎通ができています。</p> <p>・ 「熱心で親身な指導」は、プロとして当たり前である。</p> <p>・ 先生方が個々の生徒に対して色々な状況を捉えており、また職員間でも問題に対して共有されていると感じる。</p> <p>◇◇◇</p>             |
| <p>III 健康な体の育成</p> | <p>団体行事の用意(団体行動や行事運営の基本も学習)</p> | <p>① スポーツデイ実施【参加率96%以上、(2)回/年】</p> <p>② 身心の持久力育成【耐寒持久走会参加率95%以上】</p> <p>③ 体育大会の活用<br/><u>団体種目の記録向上</u></p> <p>④ 武道奨励<br/>時数の確保<br/>ねらいの理解と浸透</p> <p>⑤ 部活動奨励【参加率85%以上】</p> <p>⑥ ダンスデイ実施</p>  | <p>① 7月 サッカー(男子)とドッジボール(女子)を実施。3月 サッカー(男子)とサッカー(女子)を実施予定。毎回全学年意欲的に取り組み、切磋琢磨できたと思う。全体参加率: 97 %</p> <p>② コロナの影響で延期となり、さらには栃山川外周コース中止の運びとなった。通常の体育の授業での学年ごとのランニングを実施。ひと月前からの練習によってランニング量は確保されていた。生徒達も概ね真面目に取り組んでいた。</p> <p>③ 行進が本年度も中止になり、本校らしさが薄れた印象があった。全般的に控えめではあるが、きちんと競技はできたと感じる。現状下では仕方ないが、生徒達が気の毒に思われる面があった。</p> <p>④ 男子は柔道、女子は剣道の指導を実施した。ねらいの理解と浸透について手だてを引き続き検討していきたい。</p> <p>⑤ スクールカラーを涵養し、集団育成する好機として参加を促している。加入率: J11: 74%, J12: 97%, J21: 97%, J22: 89%, J31: 97% J32: 92% 全体: 91% 前年度より3%増加。概ね参加意欲が高く、生活にも良い影響を与えていると感じる。</p> <p>⑥ 12月8日(水)延期後実施。参観者は110名超で例年の約3割増し。コロナ対策を行い、参観者は無論、生徒も意識良く行動できた。節度を保ち明るく活発に演技と鑑賞を楽しむことができた。進行面も円滑だった。前後の挨拶を工夫した方がさらにより印象がある。</p> <p>促した。主要行事の重要性を再認識した。</p> | <p>・ 行事のねらいの共有に留意したい。</p> <p>・ 一つの行事に熱心に取り組む姿には成長を感じられる。</p> <p>・ チームワークや積極性をうまく引き出せている。</p> <p>・ 部活動は意欲的に参加してくれている。</p> <p>◇ ダンスデイの生徒の取り組みが非常に良かったのもっと向上させていきたい。</p> <p>・ J3生徒の意欲的な取り組みが印象的でした。</p> <p>・ 中学部のタテの関係を良くしていると感じる。イベントも盛り上がっている。</p> <p>・ スタート時までマスクをして掛け声をかけなければ行進は可能かと思えます。</p> <p>・ ダンスデイで見せたJ3生の自主性、及び企画力が素晴らしいものであった。</p> <p>・ 諸項目、非常に健康的である。</p> <p>・ 部活動を一生懸命頑張っている。</p> <p>・ スポーツデイの実施によりクラスや仲間などの横のつながりが良くなると感じられる。</p> <p>A 37%<br/>B 54%<br/>C 0%<br/>D 9%</p> | <p>A 0%<br/>B 100%<br/>C 0%<br/>D 0%</p> | <p>・ コロナの中での実施は難しいと思うが、今後は団体行事も実施をお願いしたい。</p> <p>◇ 明誠らしい文武両道をすすめてほしい。</p> <p>・ 中学時代、学習面と共に大切な分野である。更なる充実に期待する。</p> <p>・ 生徒の活動的な意欲を感じる。</p>        |

|                 |                     |   |  |  |   |   |  |
|-----------------|---------------------|---|--|--|---|---|--|
| IV 豊かな生活の<br>追及 | 特別活動や課外活動<br>の準備と充実 | <p>① キャリア教育の一斉の計画的取り組み<br/>キャリアパスポートの繋がり意識<br/>【MD内に設定】</p> <p>② 青藍祭に、部・学年・学級で参加<br/>実践力やボランティア精神を磨く場とする<br/>リーダーシップ・フォローシップ涵養<br/>展示物には価値観教育への成果を記す</p> <p>③ フィールドワーク【(2)回/年】、芸術鑑賞<br/>自身の思考力や発想力に向上に資する体験<br/>学習を行う。事前事後指導の充実。</p> <p>④ 行事や活動のまとめと発表・展示<br/>ねらいと学びを振り返り、次の行事・節目に向け<br/>展望させる。</p> <p>⑤ 学習集団の向上(行事・授業等活用)<br/>プレゼンや議論を活かし、コミュニケーション<br/>力や創意工夫する力、思考力を上げる。<br/>混成集団をつくり、他者への理解を深め、<br/>また、集団の力を自覚理解する。</p> <p>⑥ 各種団体の文芸コンテストに参加<br/>想像力を発揮し、自他の理解を深め、お互いに<br/>学び合う仲間であることを自覚する。</p> <p>⑦ 自分の長所・短所について行事ごとに振り返り、<br/>自尊心や自己有用感獲得に繋がるヒントを得る。</p> | <p>① MDの年間計画を主要行事に前後してより明確にし、共有したい。<br/>FWの活用と発達段階に合わせた取り組みをこつこつと行いたい。</p> <p>② 全学年展示活動を実施、J1・J2はオリエンテーションキャンプ・可睡齋に、<br/>J3は職員プロフィールに焦点をあて、学校理解とPRIにつながった。<br/>自身や周囲の人間に対し見つけ直し、集団育成する機会となった。</p> <p>③ 4月(昨年度未実施)と10月に予定通り主要行事を実施することができた。<br/>それぞれタイムリーに事前事後指導を行い、生徒たちに考察をきちんと<br/>促した。主要行事の重要性を再認識した。<br/>芸術鑑賞教室ではBAND「二人目のジャイアン」によるライブ演奏が行われた。<br/>本校校歌のリミックスが披露されたり、ライブ活動に興じたりしながら<br/>全校生徒が共通体験することの意義を考えるきっかけとなった。</p> <p>④ ワークシート作成が夏休み前後から充実していったと思う。<br/>良い振り返りをする者や個性的なシートに仕上げていく者など<br/>今までにない面もみられた。振り返る内容についてはまだまだ検討の余地が<br/>ある。学級・学年でよく話し合いながら、学びを高めていく必要がある。</p> <p>⑤ 中学部や学年の目標は経営目標として設定されている。それに時宜を<br/>考慮して重点目標などそれぞれ設定していくわけだが、一つ一つの活動が<br/>それに沿ったものであるのか、何処に向かおうとしているのか、何を掴み繫げ<br/>ていこうとしているの折々考える必要がある。スポット企画になると教育効果<br/>は薄れやすいのでここは特に注意しなければならない。</p> <p>⑥ 定番コンテストで入選を果たし成果を実感できた。発表鑑賞する機会を設け<br/>集団育成を促進するチャンスにしたい。こもとても大事である。</p> <p>⑦ ワークシートの自己分析において、「自分は～するようになった。」、<br/>「他者の～を～考えるようになった。」などといった到達点を表現させ、<br/>見聞に終始しないよう活動や行事の振り返りを行わせたい。</p> | <p>A 38%</p> <p>B 51%</p> <p>C 3%</p> <p>D 18%</p> | <p>・ 振り返りとして展示がされていて良いと思う。</p> <p>▲ MDの活用を考え直したい。</p> <p>・ 様々なアイデアを生徒達が主体的に発信し、充実させることができた。</p> <p>◇ ICT化の中学部先行により、ポートフォリオがストックできるような<br/>システムを作るべき。</p> <p>・ 来年度以降のキャリア教育の推進を期待します。</p> <p>・ 特別活動において生徒が主体となってプレゼンを実施することができた。</p> <p>・ 生徒のプレゼンや発信の場が増えてきたのはよいと思う。</p> <p>・ 国際教養的な体験は中学の時に出来ると良い影響があると思う。</p> <p>・ 各学年や学級で個性を出せている。積極的に行動できる生徒が増えて<br/>いるように感じる。</p> <p>◇ MDをより計画的に生徒主体でできるようなものにしていきたい。</p> | <p>A 0%</p> <p>B 100%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p> | <p>・ 青藍祭が生徒だけで実施できてよかった。</p> <p>・ 中学時より高校生と同じ校内で学び、キャリア教育が取り組みやすい<br/>環境である。</p>   |
| V 家庭・地域との<br>連携 | 対話の増加               | <p>① 面談の奨励(希望面談も用意)【4回/年】</p> <p>② 保護者会等実施</p> <p>③ 行事関係文書配布【2週間以上前】<br/>子供の現れの連絡(けが・病気含む)</p> <p>④ 内進高校生の情報も含め生徒の良い点の発信<br/>中学部だよりの活用</p>  | <p>① 4月新年度個別面談①、8月夏休み三者面談、11月個別面談②、<br/>6月(コロナ中止)・11月オープンキャンパス中希望面談、11月～2月個別面談<br/>による進級指導実施。〇/〇が一回減少したが、面談機会は確保できた。</p> <p>② 6月 地区別懇談会(交通安全対策・夏期の準備)、<br/>9月 J3修学旅行説明会(学年懇談会・進級準備含む)<br/>2月 学年学級懇談会 参加率6～8割前後で減少傾向。</p> <p>③ 各行事2週間前後前に通知を配布。また、今年度はさくら連絡網による<br/>通知を有効に活用することができた。通知の方法については、検討し<br/>工夫していけると思う。</p> <p>④ 7月と3月J3対象に進路課長講演会実施。進学の基本や現状について<br/>説明してもらい、目標の再確認と進路意識の高揚を図った。<br/>内進生独自の進路ガイダンスの在り方を探りたい。<br/>やはり全学年対象であることが望ましい。啓発機会は早い段階から確保<br/>していきたい。</p>  | <p>A 28%</p> <p>B 51%</p> <p>C 3%</p> <p>D 18%</p> | <p>◇ 高校内進生と連携をした方がよい。</p> <p>・ 保護者からの大きなクレームがなかった事を考えると、家庭と学校が<br/>良好な関係であったことが伺える。</p> <p>・ 何かあるとすぐに連絡を取り、良いコミュニケーションが確保されている。</p> <p>・ 保護者や地域との連携がよく取れている。</p>  | <p>A 0%</p> <p>B 100%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p> | <p>◇ 高校に繋げていく指導を期待する。</p> <p>・ 学校と保護者の関係がたいへんよいと思われる。</p> <p>◇ コミュニケーションの確保を継続してほしい。</p> <p>・ 面談が確保できたことは良かった。</p> <p style="text-align: right;">◇◇◇</p> |
|                 | 広報活動の充実             | <p>① 通信文書の発行【6回以上/年】</p> <p>② 子供安全連絡網・SNSの活用<br/>さくら連絡網・ラーク</p> <p>③ オープンキャンパスでのアンケート実施</p> <p>④ 行事や発表会の開放</p>  | <p>① 定期的に時節の学校活動の近況とそれにまつわるニュース・エピソード等を<br/>紹介し、啓発と学校理解を促しつつ、PRや広報もきちんと確保し充実した。</p> <p>② コロナ対応等、行事予定変更に関する保護者への連絡手段として活用し、<br/>とてもよく機能した。無くてはならないものになっている。</p> <p>③ アンケート内の各意見・提案や質問に対し適切に対応した。<br/>参加率は50%前後で推移している。</p> <p>④ 体育大会、ダンスデイ、体験学習、FW報告会など開放した。通知を配布し<br/>参加を促した。体育大会やダンスデイなど除き、参観者は必ずしも多いとは<br/>言えないが、関心の強さを毎年感じている。</p>  | <p>A 37%</p> <p>B 45%</p> <p>C 2%</p> <p>D 16%</p> | <p>◇ もっと連絡網は活用ができる。</p> <p>・ 中学部通信は定期的に発行されていた。家庭をつなぐ役割を果たした。</p> <p>・ 中学部通信は保護者からも生徒からも好評である。</p> <p>・ 本校保護者に対する発信、外部の小学校、小学生とその保護者への<br/>発信とともに有効に発信されていると思う。</p> <p>・ ちょうど良い活動量だと考えます。</p> <p>◇ SNS等を活用し中学の様子を発信する余地はまだある。</p> <p>・ さくら連絡網を活用し通知を行うことができた。</p> <p>・ 行事や生徒の様子を保護者等に知らせることは重要であり、よくできて<br/>いると感じる。</p>   | <p>A 29%</p> <p>B 71%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p> | <p>◇ さくら連絡網は活用ができて情報が情報の伝達先が偏っている。</p> <p>・ 時代の流れでSNSの利用促進も大事かと思う。</p> <p>・ 中学部通信等保護者が学校の様子を知る一つの手段である。</p>  |

|                |            |   |   |  |  |
|----------------|------------|---|---|--|--|
| VI 生徒募集        | 渉外活動の充実    | <p>① 説明会や講習会・オープンテスト等実施<br/><b>掛川説明会再開</b></p> <p>② 小学校や塾への渉外活動</p> <p>③ 各種行事の活用</p> <p>④ リーフレット作成</p>                    | <p>① ・説明会 7/3 :31世帯, 7/31 :延べ66, 8/21 :延べ49<br/>9/18 :延べ約100, 11/6 :延べ約110,<br/>オープンや体験学習会と同時開催し、興味関心を高めた。<br/>世帯数は延べ数の6~8割くらい。児童・保護者を共に学校に引き付け学校理解を深め、かつPR効果を高める意味は大きい。<br/>・6年体験学習会 8/21 : 37 前年比 76%<br/>・講習会 9/15 :46名, 10/13 :69, 10月が特に盛況 前年比 102%<br/>・オープン①7/31 :71名、②9/18 :103名、③11/6 :99名 前年比 109%<br/>②③が特に盛況であった。<br/>・入試 一次 83 :単71 併12 二次 2 :単2 前年比 97%<br/>募集定員70名になり4年目、72名入学予定。6年連続定員を満たしている。併願が9名減少、単願率が75%から86%に増加。女子は35%から40%に増加。<br/>リーフレット・Tel・e-mail等の事前申し込みとタイムリーなDMとEによる勧誘相談活動を展開した。昨年同様入試で多少敬遠された可能性はある。<br/><br/>・4・5年説明会 7/17 :延べ約90, 10/30 :延べ約80, 2/26 :延べ約95<br/>・4・5年体験学習会 英語10/30 : 54 前年比138%<br/>理科 7/17 :73, 2/26 :89 前年比105%<br/>4・5年生の共感関心を高めるタッチや手だては、保護者の共感や関心をよく促し、各機会盛況となった。次年度以降の成果も期待したい。<br/>アンケートや行事の動画のフィードバックも大いに共感アップに役立った。</p> <p>② 小学校訪問約100校 6月(学園祭前)・7月(夏面談前)・2月(学習会前)の3回を基本として訪問した。<br/>志摩・小笠・静岡地区の有名個人塾を訪問。学校案内・入試行事リーフレット・学園祭/体験学習案内・通学バス案内・通学費補助案内等配布。<br/>③ 学園祭や定期演奏会は学校関係招待者のみの対応となった。<br/>④ 入試行事年間予定リーフレットに加え、各種リーフ(講習会・オープンテスト・体験学習会・通学補助支給等)をひと月以上前から送付配布した。<br/>A3版体験学習会用自家製ポスターを校外外で掲示推進した。</p> | <p>A 37%<br/>B 49%<br/>C 2%<br/>D 12%</p> <p>・説明会などの小学生を対象にした活動で受験者数や女子の数が一昔に比べると大幅な効果をあげたと思われる。<br/>▲生徒募集活動において中学職員だけでは人が足りないことがあるので中学部以外の職員も業務に充てる体制を整えてほしい。<br/>・地域や外部の方々にPRができていていると感じる。<br/>◇オープンテストの手間がかかりすぎる。高校入試作成とも重なる。オープンテスト1回分をなんとかできないか。<br/>◇説明会ごとの内容については重複もあるため更に検討が必要ではないか。<br/>・各種渉外活動で多くの参加者があり、成果を取めていると感じている。<br/>▲特定の人物だけでなくシェアできる場所はシェアし、担当者をもっと増やす必要があるかと思う。<br/>◇コロナ禍でよく定員充足できている。渉外活動の強化のためには、中学部以外の職員にも協力してもらう必要がある。<br/>▲諸行事中学教員だけでは手が足りないと思うが、協力要請は全体に投げかけていくべき。<br/>▲入試だけでなく普段の説明会や体験学習なども中高関係なく職員が協力すべきであるし、積極的にかかわりたい。<br/>◇体験学習の目的を考えた内容の充実を職員全員で考えていきたい。<br/>・入学生徒が昨年と変わらなかったことは評価できる。<br/>・新しい企画を用意している。来年度の実施に期待が膨らむ。<br/>・中学生を説明会に登場させた。各学年の先生方が意欲的に取り組んでくれた。中学生を育成する機会にもなった。<br/>・体験型の企画が多いのが良い。<br/>▲理科体験の負担が大きい。<br/>▲オープンテスト、講習会、理科英語体験学習など中学部教員の負担は大きい。負担が偏らない体制を整えてほしい。</p> | <p>A 29%<br/>B 57%<br/>C 0%<br/>D 14%</p> <p>▲中学入学から明誠に関心を寄せてもらうことは、確実な生徒数の確保に有効。一方、取り組みについて教員の負担もかなり気になる。<br/>・塾の力をうまく利用できる道はないものか。<br/>・昔より私立中学へ入るといった壁は低くなっている。積極的に説明会を行ってほしい。<br/>・募集活動がよく行われていると感じる。<br/>・充実した募集活動に応援したくなる。</p> <p style="text-align: right;">◇◇◇</p> |
| VII 教育施設・設備の活用 | 快適な教育環境の実現 | <p>① 教室内外整理整頓、施設管理、電源管理の徹底、目的の理解【放課後巡回 複数回/日】</p> <p>② 駐輪場管理</p> <p>③ 設備・備品の保全【放課後巡回 複数回/日】</p> <p>④ 防災教育と訓練の実施【2回/年】</p> | <p>① 学級や学年集会等にて、身辺の管理・整理について指導を継続した。概ね例年通り一定の水準を維持した。ねらいの理解には課題がまだ残った。内部進学生として何を理解させ、実践させていくのかといった視点を常に念頭に置く必要がある。<br/>② 駐輪場の整備により駐輪方法が標準化されたが、男女ギャップが生じていた。中学生徒会を中心に立案し、駐輪方法について主体的に立案提案し、改善を施した。<br/>③ HR・集会指導や放課後巡回指導を行い、啓発と保全に努めた。本館男子トイレの使用に際して、時折粗相が見られた。<br/>④ 5月防災避難訓練実施。二次避難実施。<br/>9月防災避難訓練実施。略式で、一次避難・安全点検のみ。二次避難未実施。</p>  | <p>A 11%<br/>B 65%<br/>C 6%<br/>D 18%</p> <p>◇駐輪場の使用については指導を徹底した方が良い。<br/>・古い設備も多いが、徐々に改善されていっていると感じる。<br/>◇完全洋式化トイレ等いまだ他校に劣っている点が多々あるので、さらなる改善が必要かと思う。<br/>◇園芸部と協力して花壇を整備する活動を行うのも良いかと思う。<br/>・設備の修繕に時間がかかりすぎるのではないか。<br/>・中学部生徒会の発案で駐輪場をもっと使い易いようにした。そのような視点を持ってきている事は大変評価できる。<br/>▲エアコン、電気設備の管理が必要と感じられる。入試の際にも不具合が多い。</p>  | <p>A 0%<br/>B 86%<br/>C 0%<br/>D 14%</p> <p>▲トイレの乾式化は良かった。7Fの男子トイレは要改良である。<br/>◇学習環境の改善に一層取り組んでほしい。<br/>◇時代の変化に対応して学習環境の改善のために投資すべき。<br/>◇校内にもっと花があると良い。<br/>◇整理整頓は一生の問題でもある。そのつもりで取り組んでほしい。<br/>◇防災訓練はとにかく継続実施してほしい。</p>  |